

令和4年度丸亀護国神社の大注連縄作成・奉納

コロナ第7波も下火となり明るい希望が見通せる11月19日(土)隊友会丸亀支部、丸亀護国神社奉賛会吉川会長、おせっかい協会香川支部松林支部長の14名のご奉仕を得て令和4年度丸亀護国神社大注連縄の作成を行った。作業は、08:00から稲わらの搬入作業、脚立等資材の準備を実施。09:00から安全祈願の後、作業を開始。当初、古い注連縄の石柱からの卸下作業、其の後大注連縄の作業組2組、小注連縄作業組を編成して作業開始、教育を兼ねて注連縄作成の手順、要領のコツを展示しつつ作業を実施。午前中に大注連縄の3本締め、下がり、幣の飾り付けまで実施。昼食休憩の後、13:30石柱への飾り付けを完了、御祭神に無事注連縄奉納完了を報告。参加者14名であったが、作業は効率よく整齊と実施できた。隊友会による大注連縄の奉納は、平成12年から実施しており今年度で23回目を数えました。



作業開始前の安全祈願



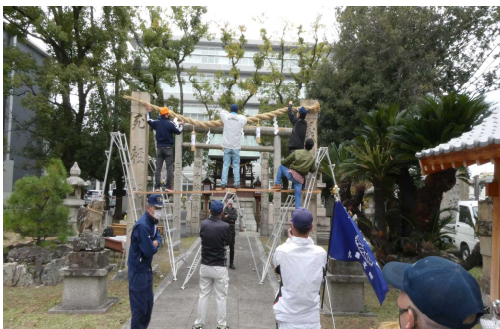
小注連縄作成



大注連縄の捻り作業



小注連縄の社殿飾り付け完了



大注連縄の石柱への吊り下げ作業



大注連縄作成作業を完了して
奉仕者による集合写真